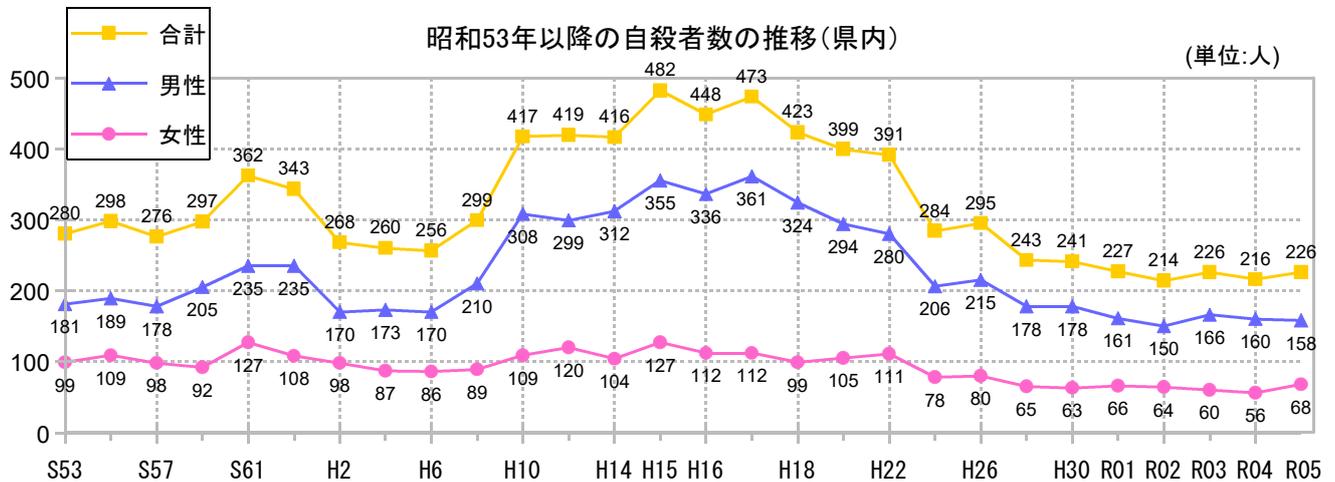


令和5年中の自殺の概要(長崎県内)

令和5年中の長崎県内の自殺者総数は226人で、前年に比べ10人増加している。

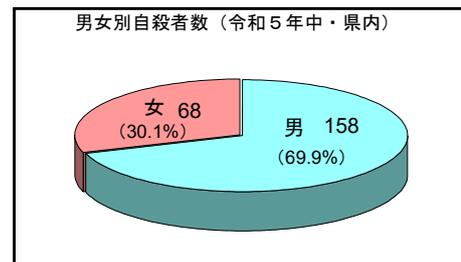


1 性別

男性が全体の約7割を占めており、前年比では男性が2人減少、女性が12人増加している。

(単位:人)

	総数	男性	女性
令和5年	226	158	68
(構成比)	(100%)	(69.9%)	(30.1%)
令和4年	216	160	56
増減数	+10	-2	+12
増減率	+4.6%	-1.3%	+21.4%

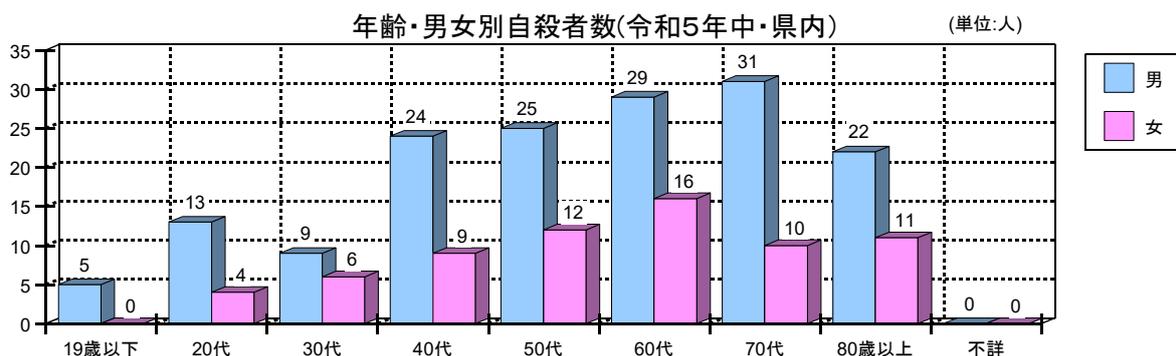


2 年齢別

「60代」が最も多く、次いで「70代」、「50代」の順となっている。

(単位:人)

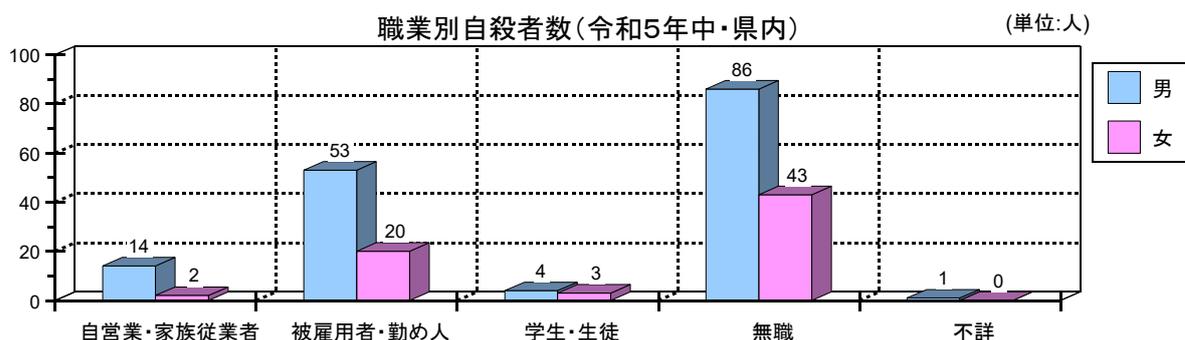
	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不詳
令和5年	5	17	15	33	37	45	41	33	0
(構成比)	(2.2%)	(7.5%)	(6.6%)	(14.6%)	(16.4%)	(19.9%)	(18.1%)	(14.6%)	(0.0%)
令和4年	4	9	20	42	27	40	41	32	1
増減数	+1	+8	-5	-9	+10	+5	±0	+1	-1
増減率	+25.0%	+88.9%	-25.0%	-21.4%	+37.0%	+12.5%	±0.0%	+3.1%	-100%



3 職業別

「無職者」が最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」、「自営業・家族従事者」の順となっている。
(単位:人)

	自営業・ 家族従事者	被雇用者・ 勤め人	無 職		不 詳
			学生・生徒	無職者	
令和5年 (構成比)	16 (7.1%)	73 (32.3%)	7 (3.1%)	129 (57.1%)	1 (0.4%)
令和4年	24	52	3	136	1
増減数	-8	+21	+4	-7	±0
増減率	-33.3%	+40.4%	+133.3%	-5.1%	±0.0%



4 原因・動機別

「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「その他」の順となっている。
(単位:人)

	総 数	原因・動機	
		特定者	不特定者
令和5年	226	208	18
令和4年	216	193	23
増減数	+10	+15	-5
増減率	+4.6%	+7.8%	-21.7%

注) 自殺の原因・動機については、令和3年までは、自殺者一人につき関連性の高いものから3つまで複数計上可能としていたが、令和4年からは、4つまで可能とした。このため、以前の資料とは単純に比較することはできない。
また、原因・動機特定者の原因・動機別の延べ数(301)と原因・動機特定者数(208人)とは一致しない。

(単位:件)

	原因・動機特定者の原因・動機別内訳							延べ数
	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	
令和5年	43	135	44	28	5	5	41	301
令和4年	42	131	32	27	1	0	39	272
増減数	+1	+4	+12	+1	+4	+5	+2	+29
増減率	+2.4%	+3.1%	+37.5%	+3.7%	+400%	+500%	+5.1%	+10.7%

